

平成31年度当初予算 主要事業

～みらいに向けた“備え・はぐくみ”予算～

近年増加する自然災害や少子化への対策として、安全・安心への備えや子育てを中心に、公約の推進を重視した施策を展開

平成31年度当初予算における主要な事業を、平成31年度から10年間を計画期間とする「第7次小樽市総合計画 基本構想」の「まちづくり 6つのテーマ」に沿って示します。

なお、《公約》と表示している項目は、「夢あふれる元気な小樽」を目指すために市長が公約として掲げた、重点的に推進を図る施策です。

I 安心して子どもを産み育てることのできるまち（子ども・子育て）

新規:◎ 拡充:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
保育環境の整備 《公約1-①》				
◎	病児保育事業費補助金	市内の保育所・幼稚園・認定こども園、小学校に通う1歳6か月から小学校2年生までの児童を対象に、病気になった際の一時保育を実施する学校法人小樽学園いなほ幼稚園に対する補助	4,275	福祉部
	民間保育施設等整備支援事業費補助金	学校法人小樽学園いなほ幼稚園が行う、認定こども園舎や病児保育棟などの施設整備に係る経費の一部を補助	48,307	福祉部
妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を目指して				
◎	不妊検査助成事業費	保険医療機関で実施した不妊検査に要した費用（自己負担分）について、2万円を上限に助成	1,000	保健所
	周産期医療支援事業費補助金	安定的な周産期医療体制の維持のため、地域周産期母子医療センターである小樽協会病院に対して支援	16,000	福祉部
	こんにちは赤ちゃん事業費	生後4か月までの子どもがいる全家庭を保健師又は助産師が訪問し、育児に関する不安や悩みの相談、育児情報の提供などを行う。	3,200	保健所
☆	子ども医療助成費（市の単独分）	平成31年4月から中学生の入院医療費を助成対象に追加し、自己負担を非課税世帯は初診時一部負担金のみ、課税世帯は1割に軽減	70,034	医療保険部
	児童扶養手当経費	「ひとり親家庭」の生活の安定と自立を支援するための手当の支給。平成31年11月から、支払回数を経年3回から年6回に変更（2か月に1回奇数月に支払）	856,800	福祉部
	子ども・子育て支援事業計画推進事業費	「第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画」（平成32年度～36年度）を策定	480	福祉部
青少年の地域活動の支援				
◎	ニュースポーツ用具購入費	小・中学生、高校生を対象とした新年子ども会等のイベントやリーダー養成研修の内容充実のため、フロアカーリングなどの気軽楽しめるニュースポーツ用具を整備	330	生活環境部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
不登校の児童生徒への支援と、生活困窮世帯などの子どもへの学習支援 《公約1-②》				
	教育支援センター関係経費	小中学校における不登校児童生徒に対し、カウンセリングや個々の学力に応じた学習支援などを行うほか、不登校の未然防止及び学校教育上又は生徒指導上の課題の解決のため、児童生徒や保護者、教職員からの相談に対応	7,500	教育部
◎	子どもの学習・生活支援事業費 (生活サポートセンター分)	ひとり親家庭、生活保護世帯、生活困窮世帯の中学1年生～3年生を対象として、学習の支援や困りごと相談に応じるなど生活支援を実施	1,423	福祉部
◎	子どもの学習・生活支援事業費 (こども福祉課分)		2,846	福祉部
外部人材の登用や教育機器の整備など、教員の働く環境や児童生徒の学習環境の改善 《公約1-③》				
	小学校英語教育推進事業費	平成32年度に導入される小学校3年生からの英語教育を見据え、全小学校の3～6年生の外国語活動に外部講師を派遣	1,500	教育部
◎	嘱託報酬(部活動指導員)	教職員の働き方改革や部活動指導の充実を図るため、中学校の部活動指導員として、専門知識のある人材を任用	2,016	教育部
◎	教育用パソコン整備事業費(小学校)	平成32年度から開始されるプログラミング教育も見据え、動画撮影、プレゼンテーションなど、様々な場面で活用できるタブレット型パソコンを整備 (平成32～37年度 債務負担分 129,461千円)	10,957	教育部
◎	教育用パソコン整備事業費(中学校)	パソコン教室のデスクトップ型パソコンの更新と、様々な場面で活用できるタブレット型パソコンの整備 (平成32～37年度 債務負担分 78,177千円)	3,399	教育部
	ICT教育促進事業費	中学校2年生の普通教室にデジタルテレビを整備	3,400	教育部
	学校図書館整備費(小学校)	児童生徒の読書習慣の確立のため、学校司書を配置して、図書の整理や推薦図書の紹介などを行い、学校図書館の充実を図る。平成31年度は学校司書を1名増員して計6名とし、市内を6地区に分けて各1名配置	10,244	教育部
☆	学校図書館整備費(中学校)		6,714	教育部
生まれ育ったまちの理解を深め、郷土愛を育む				
◎	ふるさとキャリア教育推進事業費	子どもたちが「ふるさと小樽」のよさに気づき、自己の将来を考える機会を設けることで、小樽の将来を担う人材育成を目指す。 平成31年度はキャリア教育推進会議、外部講師による出前授業、進路説明会、遊覧屋形船における講話、潮音頭の指導などを実施	600	教育部
	小樽市民俗芸能伝承事業費	地域の伝統文化を保存継承するため、本市の文化財である「松前神楽」「向井流水法」「越後踊り」の講師を小中学校に派遣し、児童生徒が体験する機会を創出(平成30年度まで「ふるさと教育推進事業」として実施)	250	教育部
◎	「小樽の歴史」作成経費	小学校5・6年生を対象に、本市の自然や歴史、伝統、文化、産業等について学ぶための教材「小樽の歴史」を作成	1,700	教育部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
学校・家庭・地域の連携・協働の推進				
☆	コミュニティスクール導入等促進事業費	学校運営や学校の課題に対して保護者や地域住民が参画する「学校運営協議会制度」（コミュニティ・スクール）を推進するため、導入校の活動支援や、導入準備校における地域説明会などを実施	700	教育部
	教育支援活動推進事業費	地域住民がボランティアとして小中学校の授業補助などを行う「学校支援ボランティア事業」、土曜日に体育館や図書館を開放して各種体験教室を行う「おたる地域子ども教室」、家庭教育に関する講座や子供の体験講座などを実施して、家庭教育支援を行う。	2,000	教育部
	「樽っ子学校サポート」関係経費	市内の高校生・大学生や地域住民を小中学校に派遣し、放課後や長期休業等における児童生徒の学習支援を行う。	300	教育部
学校耐震化の推進				
	校舎等耐震補強等事業費（幸小）	校舎及び屋内運動場の耐震補強及び大規模改造工事	702,745	教育部
◎	校舎等耐震診断経費	耐震診断未実施の学校施設に対する耐震診断を実施 ・塩谷小（校舎） ・桂岡小（屋内運動場）	11,000	教育部

Ⅱ

誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
「ふれあいバス」の継続に向けて 《公約2-③》				
	ふれあいバス事業費	70歳以上の市民に対し、「ふれあいバス」（バス乗車証又はJR特殊乗車券）を交付。また、持続可能な新制度の実施に向けた検討を行う。	197,000	福祉部
「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組 《公約2-⑧》				
	地域住民グループ支援事業	ボランティアで介護予防に資する活動を行おうとする地域住民のグループに対し、地域活動組織の育成及び支援のための助成金を交付	2,450	医療保険部
障がい者への支援の充実				
☆	障害者タクシー利用助成事業費	下肢、体幹、移動機能障害1・2級、視覚障害1・2級、腎臓機能障害1級の方にタクシー助成券を交付。平成31年度から交付対象に視覚障害2級を追加	9,200	福祉部
健康寿命の延伸を目指して 《公約2-②》				
◎	糖尿病性腎症重症化予防事業費	生活習慣病の悪化による人工透析への移行を防ぐため、小樽市医師会と連携し、「小樽市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定するとともに、糖尿病未治療者などに対して受診勧奨や保健指導を実施	5,148	医療保険部
◎	受動喫煙対策促進事業費	望まない受動喫煙の防止を図るため、受動喫煙による健康影響等についてポスターなどで周知するとともに、施設管理者などを対象に受動喫煙防止対策に関する説明会を開催する。また、飲食店などにおける受動喫煙防止対策の推進を図る。	440	保健所
「生きる」を支え合うまちを目指して				
	地域自殺対策緊急強化推進事業費	「小樽市自殺対策計画」に基づき、地域のネットワーク強化、自殺対策を支える人材育成、市民への周知・啓発などの自殺対策を推進	250	保健所
消費税率引上げに伴う対応				
◎	低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費	平成31年10月からの消費税率引上げによる消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的として、市民税非課税世帯と3歳未満の子が属する世帯を対象に、プレミアム付商品券を販売	63,101	産業港湾部 福祉部 総務部

Ⅲ

強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
農業の担い手確保				
	農業次世代人材投資事業費補助金	国の制度を活用し、新規就農者に経営確立に係る資金を交付	2,250	産業港湾部
地場産品のブランド化や新商品の開発支援、国内外への販路拡大 《公約3-①》				
	水産物ブランド化推進事業費	小樽の地魚や水産加工品の知名度アップと消費拡大、水産加工品の新商品開発やブランド化を図る取組を行う。平成31年度は、社員食堂でのおさかなフェア等でのPR、小樽水産加工グランプリ受賞商品の宣伝や販路拡大への支援、水産加工品データベースの更新などを実施	3,400	産業港湾部
	海外販路拡大支援事業費	海外への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用補助や、札幌市との連携事業による海外物産展や展示商談会への出展支援、産学官連携によるベトナム市場開拓のための商談会等を実施	3,650	産業港湾部
◎	稼ぐ力向上実践事業費	市内及び後志管内の食料品関係事業者を対象として、全国規模の商談会への参加、商品特性や供給能力に適した新たな販路の開拓及び販売の実践、商品の磨き上げ相談を実施	6,000	産業港湾部
商店街や市場の特性を活かした魅力づくりと観光客の回遊性向上によるにぎわいづくり 《公約3-②》				
	にぎわう商店街づくり支援事業費	小樽市商店街振興組合連合会所属の商店街が行う、にぎわい創出や魅力向上の取組のうち、新規又は既存の事業内容を発展させる事業に対する補助	5,400	産業港湾部
	商店街活性化支援事業費	商店街や市場等が行うイベントや魅力向上のための宣伝事業や商店街への回遊性の向上を図る事業などに補助	2,000	産業港湾部
◎	旧国鉄手宮線整備事業費	市民との協働により枕木花壇を更新し、景観の充実を図るとともに、臨港線～長橋線区間における落石進入防止のための調査及び応急対応を実施	3,000	建設部
新規開業の支援など、市内の中小企業、小規模事業者の振興 《公約3-③》				
	創業支援事業費	新規創業者に対して、家賃や内外装工事費など事業開始にかかる費用の一部を補助	25,000	産業港湾部
	中小企業振興会議運営経費	小樽市中小企業振興基本条例に規定する「施策の基本方針」の具体化に向けた調査・審議	530	産業港湾部
企業誘致の推進				
◎	北海道・小樽ビジネスフォーラム開催事業費	市長のシティセールスなどによる本市の魅力のPRと、本市にゆかりのある企業や関係者を交えた情報交換会により、域外から企業や人を呼び込み、首都圏におけるネットワーク構築を図るフォーラムを東京で開催	1,800	産業港湾部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
国際観光都市としての外国人観光客の受け入れ体制強化 《公約3-⑧》				
	観光案内所運営費交付金	国際インフォメーションセンター、JR小樽駅及び浅草橋の観光案内所の運営にかかる交付金。H31年度は外国人観光客対応の強化のため通訳スタッフを1名増員	26,600	産業港湾部
日本遺産を活用した魅力の発信 《公約3-⑨》				
	日本遺産認定関係経費	地域型（小樽市単独）日本遺産の平成32年1月の申請を目指し、日本遺産ストーリーの構築や文化庁との協議などを実施	650	産業港湾部
◎	（仮称）北前船寄港地フォーラムin北海道小樽・石狩実行委員会補助金	平成30年度に本市が追加認定された日本遺産ストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」のフォーラムを、石狩市と共同で開催	2,000	産業港湾部
	日本遺産地域活性化事業費	フェリーで北前船の歴史や本市の構成文化財を紹介する「北前船ストーリー船上講座」や、北前船日本遺産推進協議会が行う事業への参画など、地域活性化の取組を実施	1,775	産業港湾部
朝里川温泉地区のリゾート地としての充実に向けた取組 《公約3-⑩》				
☆	朝里川温泉組合補助金	朝里川温泉地域の資源の調査研究、美化の推進、観光客誘致促進等を実施している組合への補助。新たにヘルスツーリズムの推進に向けた海外への情報発信を実施	1,300	産業港湾部
国内外への観光プロモーション				
	ロケツーリズムによるシティプロモーション事業費補助金	ロケとご当地グルメの祭典「全国ふるさと甲子園」に出展して、映像制作関係者などに本市をPRし、映画・ドラマなどの大型ロケの誘致、メディア露出の増加を図る。	1,000	産業港湾部
	観光誘致促進事業費補助金	さらなる国内外観光客の誘致や観光客の滞在時間延長を図るために実施する小樽観光協会の各種事業運営に対する補助。公式ホームページの運営管理、ナイトマップの作成、冬季イベント、フィリピン旅行博出展をはじめとする海外・道内・道外へ向けた観光プロモーションを実施	5,900	産業港湾部
◎	観光ポスター等制作事業費	様々な場面で活用できるPRツールである観光ポスター及び同デザインのポストカード、クリアファイルを、東京オリンピック・パラリンピックの機会を生かせるタイミングで新たに作成	3,000	産業港湾部
国内フェリー航路や中国との定期コンテナ航路の堅持など、輸出入を通じた小樽港の振興 《公約3-⑤》				
	小樽港物流促進プロジェクト事業費	小樽港の物流促進のため、ロシア沿海地域へのポートセールスや、国内ポートセールスを実施	1,000	産業港湾部
	多目的荷役機械延命化対策事業費	故障が多発している多目的荷役機械（ガントリークレーン）の延命化対策工事（平成32年度まで）	259,200	産業港湾部
◎	港内泊地しゅんせつ事業費	パナマックス船の入港に必要な水深確保のため、勝納泊地のしゅんせつを実施	66,900	産業港湾部
市街地に近接する小樽港の特性を生かしたクルーズ客船の積極的な誘致 《公約3-⑥》				
	小樽港クルーズ推進事業費	東京での「小樽港クルーズ・プロモーション」や船社等の企業訪問、寄港時の歓迎行事や交通整理等の安全対策を実施	16,000	産業港湾部
	環日本海クルーズ推進事業費	小樽港、秋田県3港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港の5地域で共同して、日本海側クルーズのブランド化と寄港促進を図るため、共通パンフレットの作成や外国語ホームページによる各港のPR、船社や旅行代理店へのプロモーションなどを実施	1,290	産業港湾部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
にぎわいによるまちの活力維持に向けた小樽港第3号ふ頭の整備 《公約4-④》				
	国直轄工事費負担金 第3号ふ頭岸壁改良事業費	老朽化した施設の長寿命化及び大型客船を接岸可能とするための改良工事 ・16号岸壁 陸上地盤改良工ほか(L=45m) ・17号岸壁 本体工ほか(L=60m) ※国直轄事業 平成31年度全体工事費 726,000千円 (うち市負担 1/3=242,000千円)	242,000	産業港湾部
	国直轄工事費負担金 第3号ふ頭泊地改良事業費	岸壁の老朽化対策と合わせ、水深確保により大型客船の接岸を可能とするための泊地のしゅんせつを実施 ・17号岸壁前面泊地：クラブしゅんせつ(V=16,300 m ³)	21,600	産業港湾部
港湾施設などの老朽化対策				
	色内ふ頭老朽化対策事業費	老朽化した色内ふ頭護岸の機能回復及び延命化のため、護岸改良工事を実施 ※その他下水道事業として506,000千円実施 (事業費合計 744,900千円)	238,900	産業港湾部
	ひき船建造事業費	小樽港に入港する大型船に対応するため必要不可欠なひき船について、老朽化した現行船の後継船を新たに建造 (うち債務負担分324,000千円)	330,000	産業港湾部
港湾計画改訂の再開				
☆	港湾計画改訂事業費	港湾計画改訂に向け、長期構想の検討を再開	9,000	産業港湾部
生涯現役社会に向けた高齢者の就業促進 《公約2-②》				
	シルバー人材センター事業費補助金	高齢者の就業機会を確保するシルバー人材センターに対する補助。平成31年度は、人手不足の企業等での高齢者の就業を促進するため事務局体制の拡充を図り、マッチング機能を強化	11,300	産業港湾部
若者の地元定着に向けた就職支援や雇用創出の取組				
◎	若者就職マッチング支援事業費	高校生や大学生など若者の就職率向上及び地元定着のため、市内企業の見学会や出前説明会、インターンシップ等を実施	2,600	産業港湾部
	小樽地域雇用創造協議会貸付金	厚生労働省の実践型地域雇用創造事業を活用し、事業主及び求職者向けのセミナーや、企業説明会、食資源を生かした観光商品開発などの雇用創出事業を行う協議会の運営を支援	10,000	産業港湾部

IV

生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
安全で快適な道路網の確保				
	臨時市道整備事業費	市道の老朽化路線の更新、溢水対策などの道路改良 ・平成31年度予定箇所 長橋線ほか全23路線	350,000	建設部
	橋りょう長寿命化事業費	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した橋りょうの修繕等を計画的に行い、長寿命化と維持管理コストの縮減を図る。 ・銭函高架橋 修繕・耐震工事 ・上の橋、見晴歩道橋 修繕工事 ・小樽内橋 撤去工事	419,000	建設部
空家等対策の推進				
	空き家対策事業費	「空家等対策計画」に基づく施策の推進と、適切に維持管理されていない「特定空家等」に対して法に基づく助言・指導・勧告などを実施	2,200	建設部
	特定空家等住宅除却費助成事業費	「特定空家等」で、かつ危険度・緊急度が高い「不良住宅」の除却費用の一部を助成	3,000	建設部
移住促進の取組				
	移住促進事業経費	居住地としての小樽の情報発信・PRを行い、潜在的な移住希望者の掘り起こしを行うほか、体験ツアー等を実施し、個々の相談に対応する。	1,200	総務部
◎	移住支援事業費	東京23区に在住又は通勤している者が小樽市に移住し、北海道が選定した中小企業等に就職又は起業した場合に、支援金を支給（北海道との連携事業）	2,000	総務部
納得いただける除排雪を目指して 《公約2-①》				
	除雪費	冬期間における円滑な道路交通を確保し、市民の快適な冬の暮らしや経済活動を支えるため、バス路線及び主要通学路を優先した、計画的で効率的な除排雪を実施するとともに、雪対策基本計画の策定に着手 ※貸出しランプにかかる経費は、補正予算で計上	1,542,800	建設部
	建設機械整備費	安定的な除排雪体制確保のため、市所有の除排雪機械を計画的に増強・更新し、除排雪業務受託業者に貸与 ・平成31年度 ロータリ除雪車2台更新	53,826	建設部
	ロードヒーティング更新事業費	老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新 ・平成31年度 西通線、入船南線、長橋線	145,000	建設部
都市計画に関する基本方針の策定				
	都市計画マスタープラン推進経費	平成32年度から始まる第2次小樽市都市計画マスタープランを策定 ・地域懇談会開催、地域別構想策定	9,000	建設部
新幹線駅の開業に向けたまちづくり 《公約4-⑤》				
	北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費	北海道新幹線新小樽（仮称）駅開業に向け、駅周辺のまちづくりや、2次交通、ソフト対策などについて、官民一体となって協議	320	総務部
	北海道新幹線建設費負担金	北海道新幹線建設費用に係る負担金 ・平成31年度実施予定 朝里トンネル工事、新小樽（仮称）駅詳細設計等	19,000	総務部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
公共交通ネットワークの維持に向けた取組 《公約2-4》				
	地域公共交通活性化事業費	持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目的とする「地域公共交通網形成計画」の策定と、同計画に基づく施策の実施に向けた協議	500	建設部
鉄道駅のバリアフリー化				
	鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金	鉄道駅バリアフリー化のための施設整備にかかる費用の一部を補助(補助率:国1/3、市1/3、事業者1/3) ・南小樽駅:こ線橋基礎設置等	40,500	建設部
非常時停電対策による防災力の強化 《公約2-5》				
◎	非常時停電対策関係経費(指定避難所)	指定避難所(小学校18校、中学校12校、公立保育所4園、その他1施設)にポータブル発電機、投光器を配備(平成32~35年度 債務負担分 7,140千円)	803	総務部
◎	非常時停電対策関係経費(葬斎場)	葬斎場に非常用電源接続用コンセントを新設	202	生活環境部
◎	非常時停電対策関係経費(清掃事業所)	清掃事業所のポータブル発電機を更新	120	生活環境部
◎	非常時停電対策関係経費(公立保育所)	公立保育所に石油ストーブ、携帯用ランタン、電話機(手宮保育所)を配備	297	福祉部
◎	非常時停電対策関係経費(夜間急病センター非常用発電機整備事業費)	夜間急病センターに非常用電源設備を設置	12,000	保健所
◎	非常時停電対策関係経費(保健所庁舎)	保健所庁舎にポータブル発電機を配備	550	保健所
◎	非常時停電対策関係経費(教育委員会庁舎)	教育委員会庁舎にポータブル発電機を配備	150	教育部
◎	非常時停電対策関係経費(銭函住宅3号棟集会所)	市営銭函住宅の集会所の水道・便所を停電時に非常用として提供できるよう、給水設備を電源不要の直圧とする。	450	建設部
◎	(病院事業会計分)	病院内保育所及び厨房機器類の電気設備について、停電時の非常用電源への接続を可能とするための配電盤等の改修を実施	524	病院局
◎	(水道事業会計分)	停電時の断水対策として、配水ポンプ所及び配水池に発電機を配備	4,400	水道局
災害情報伝達手段の整備や、町会の防災訓練の支援などによる防災力の強化 《公約2-5》				
☆	防災関係経費(防災行政無線(同報系)整備事業費)	津波や高潮の災害時に、沿岸の住民及び観光客等へ避難情報を迅速・確実に伝達するため、防災行政無線(屋外スピーカー)を整備 ・平成31年度~平成32年度 整備工事	150,000	総務部
◎	防災情報通信設備整備事業費	市内全域に災害時の情報提供を行えるよう、FMおたるの難聴地域を解消するための送信局増設にかかる、調査及び実施設計を行う。	10,000	総務部
	防災関係経費(防災訓練支援事業)	町会に防災訓練の教材等を提供し、訓練の実施を促進するとともに、訓練参加者の防災意識を高め、各町会の地域防災力の向上を図る。	240	総務部
☆	防災関係経費(避難支援事業)	星置川・新川の新たな洪水浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップや、土砂災害警戒区域の土砂災害ハザードマップを作成。また、災害時に避難の支援が必要な方の名簿を作成し、関係機関と共有する。	2,400	総務部

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
大規模災害等に即応できる総合的な消防力の強化 《公約2-⑤》				
	機動力増強・近代化事業費	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車1台の更新	69,000	消防本部
	(仮称)消防署手宮支署建設事業費	手宮出張所と高島支所を統合して「(仮称)消防署手宮支署」を建設 ・平成31年度 実施設計及び地質調査 ・平成32年度 建設工事	21,000	消防本部
地域の安全を担う消防団の強化 《公約2-⑤》				
◎	消防・防災施設整備費	災害発生時に必要な資機材の搬送のほか広報車として活用可能な消防団の小型動力ポンプ付積載車1台を更新	11,000	消防本部
	消防団員安全装備品等整備事業費	津波や河川の氾濫などの災害発生時に消防団員が安全に活動するために救命胴衣を整備	580	消防本部

V

まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
廃棄物の適正処理				
◎	廃棄物最終処分場拡張整備事業費（一般会計）	満杯が近づいた一般廃棄物最終処分場（桃内）の延命化のための整備 ・平成31年度 トラックスケール更新、浸出水処理施設自動制御装置更新等	50,050	生活環境部
◎	廃棄物最終処分場拡張整備事業費（産業廃棄物処分事業特別会計）	・平成32年度～ 埋立地の土堰堤造成等	4,950	生活環境部
◎	ごみ収集車購入経費	ごみ収集運搬等の効率化のため、既存の車両3台を、大型塵芥車1台及びリフト付き2tダンプ（不法投棄監視パトロール車）1台に更新	22,754	生活環境部
子どもたちが安心して利用でき、癒される公園整備 《公約1-①》				
◎	築港臨海公園記念遊具更新事業費	ダニーデン市から寄贈を受けた友好親善の象徴である築港臨海公園の遊具を改修	3,000	産業港湾部
	都市公園安全・安心事業費	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の更新を進め、公園利用者の安全・安心を確保 ・平成31年度 遊具更新工事（あかしや公園、うたすつ公園、幸中央公園、こざくら公園、しらゆり公園、あじさい公園、しあわせ公園）	39,900	建設部
歴史的景観の保全				
	歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金	「市指定歴史的建造物」の外観の保全に要する経費の一部を補助	20,000	建設部

Ⅵ 生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
文化芸術の振興				
☆	文化祭実行委員会補助金	第70回記念小樽市文化祭の開催（平成31年9月26日～11月3日）	1,000	教育部
	特別展開催経費（文学館費）	「没後50年 伊藤整全資料展」 （平成31年10月5日～11月24日）	200	教育部
◎	施設改修事業費（美術館費）	老朽化した美術館2階展示室の照明を幅広い展示に対応でき、省電力なLEDのベースライトとスポットライトに更新	15,000	教育部
文化財の適切な保存				
	重要文化財旧日本郵船㈱小樽支店保存修理工事費	小樽市を代表する重要文化財である建造物の保存・活用を図るための耐震補強工事及び保存修理	146,846	教育部
市民の健康増進と子供たちのスポーツ振興に寄与する体育施設の整備 《公約4-⑥》				
	手宮公園競技場整備事業費	第3種公認陸上競技場として必要な付帯設備（光波距離測定器、超音波風速計）を整備	6,938	教育部

Ⅶ その他主要事業

新規:◎ 拡大:☆	事業名	事業内容	予算額 (千円)	担当部
持続可能なまちづくりに向けた計画の策定				
	総合計画策定関係経費	平成31年度から始まる次期総合計画を策定 ・基本計画策定、冊子版・概要版の作成	4,000	総務部
☆	総合戦略推進事業費	現行総合戦略の進捗管理及び次期総合戦略（平成32年度～36年度）の策定・アンケートの実施、小樽市人口対策会議の開催等	590	総務部
公共施設の計画的な再編整備に向けた計画の策定 《公約4-①》				
	個別施設計画策定事業費	市民意見交換会を経て、集約化や複合化などにより公共施設の再編を示す「公共施設再編計画」及び公共施設の適正な維持管理を進める「長寿命化計画」を策定し、「個別施設計画」を完成 ・平成31年度：公共施設再編計画策定 ・平成32年度：長寿命化計画策定	3,435	財政部
人材育成の推進				
	職員研修費	職員の能力開発を進めるため、研修内容の充実を図り、外部講師等による研修を計画的に実施するほか、中堅職員育成のための先進地視察研修を実施	3,200	総務部
ふるさと納税の促進				
	ふるさと納税関係経費	「ふるさと納税」制度による寄附者へのお礼として特産品の贈呈などを行う。	46,700	財政部

市長公約一覧

1 次世代をつくる

安心して子どもを産み育てることができ、すべての子どもたちが能力や可能性を発揮できるまちづくり

- ① 子育て世帯に寄り添い、安心して産み育てる環境づくりのため、子育て世代包括支援センターの設置や保育環境の整備に取り組み、子どもたちが安心して利用でき、癒される公園の整備を進めます。
- ② 不登校問題や障がいをかかえる子どもをお持ちの家庭に寄り添い、支える体制を整えます。また、生活困窮世帯の子どもに対し学習支援を実施し、学習機会の提供による学力や学習意欲の向上を支えます。
- ③ 専門的な知識を持った外部人材を積極的に登用するとともに、スクールカウンセラーなどの拡充配置、教育機器の整備など、教員の働く環境や児童生徒の学習環境の改善に努めます。
- ④ 文化、芸術、スポーツに取り組む児童生徒の活動を支援し、豊かな感性を育み、潜在的な可能性を引き出す教育環境づくりを進めます。
- ⑤ 少子化に伴う小・中学校の統廃合の考え方を示した適正配置基本計画を社会状況や教育環境の変化、さらには、地域における学校の役割などまちづくりの観点を踏まえて議論します。

2 安全をつくり、安心を生む

すべての市民が健康で、生きがいと夢を抱きながら、安心・安全に暮らすことができるまちづくり

- ① 近年、降雪期が早まっていることから「除雪対策本部」の設置を前倒しして、バス路線やスクールゾーンなどの主要な路線を優先し、市民の皆さんに納得していただける除排雪を目指します。
- ② 高齢の方が地域社会との接点を持ち、健康寿命を延ばし、元気に生活できる生涯現役社会を目指します。
- ③ 高齢者の外出支援のための「ふれあいバス」は、利用者、バス事業者の話を聞きながら継続します。
- ④ 「通院」や「買い物」の足を守るためJR、バス、タクシーなどの公共交通ネットワークを維持します。
- ⑤ 災害による人的被害軽減のため、町会の防災訓練を支援し、迅速で的確に避難行動がとれるよう、市の体制整備を含め防災力の強化を図ります。
- ⑥ 高齢者や障がいを持った方々が安心して利用できるように公共施設などのバリアフリー化に取り組みます。
- ⑦ 福祉、医療、介護などの相談窓口を一本化した総合相談窓口を新設します。
- ⑧ 高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」を構築し、福祉、医療、介護等が連携した支援に取り組みます。
- ⑨ 高齢者や障がい者の権利を守るため、地域の官民が一体となったネットワークをつくり、相談支援の強化を図ります。

3 にぎわいをつくる

豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民に根ざした観光のまちづくり
地域経済を支える中小企業が元気に事業を続けることができるまちづくり

- ① 農業や水産業による一次製品の付加価値を高め、ブランド化を進めるとともに、新商品の開発を支援し、物産展や展示会などを通じて国内外に販路の拡大を進めます。
- ② 商店街や市場の特性を活かし魅力づくりを進めるとともに、小樽を訪れる観光客の回遊性を高めるなど中心市街地のにぎわい形成に努めます。
- ③ 市内経済の活力を維持するため、新規開業や事業承継を支援するなど市内の中小企業、小規模事業者の振興策に取り組みます。
- ④ 札幌市との連携協定を結ぶなど経済交流を強化するとともに、後志の町村との連携を促進します。
- ⑤ 国内フェリー航路や中国との定期コンテナ航路を堅持するとともに、国が進めるロシアと日本との経済協力における役割の一端を担い、輸出入を通じて小樽港の振興を図ります。
- ⑥ 市街地に近接するなどの小樽港の立地特性を活かし、クルーズ客船の誘致を積極的に進め、「みなと観光」の新たな魅力づくりに努めます。
- ⑦ 外国人向けの多言語表示、ホスピタリティ意識の向上、観光地周辺の除排雪の徹底など安心で安全な国際観光都市を目指します。
- ⑧ 基幹産業である観光の更なる拡充のため市内観光関連組織の見直しを検討するとともに、国際観光都市小樽として外国人観光客の受け入れ体制の強化を図ります。
- ⑨ 歴史的な街並みを活かし、旧国鉄手宮線、北運河と第3号ふ頭を一体的に整備するとともに、日本遺産登録された北前船寄港地としての魅力を発信し、小樽の新しい観光拠点づくりを進めます。
- ⑩ 市街地から至近距離にある天狗山や朝里川温泉地区の魅力をアピールし、夏冬通して利用可能なりゾート地として更に充実するよう開発を支援します。

4 未来をつくる

公共施設や小樽駅前、小樽港の整備、新幹線の活用など、人や物が活発に交流するまちづくり

- ① 市役所庁舎や市民会館など老朽化し耐震強度が不足している公共施設を、市民の皆さんのご意見を聞きながら計画的に再編整備を進めます。
- ② 廃校や用途が廃止された施設、土地などの市有財産を地域の発展のため有効活用を図ります。
- ③ 福祉センター、女性センター、生涯学習プラザ、さらには自立した高齢者の活動拠点など、生きがいづくりや生涯学習のための機能を集約するよう再編整備を進めます。
- ④ にぎわいによる街の活力を維持するため民間の力を活用し、小樽駅前地区や小樽港第3号ふ頭の整備を進めます。
- ⑤ 新幹線の駅周辺の開発や中心市街地との連携など、まちづくりに向けた具体的な取り組みを開始します。
- ⑥ 体育館、プールなど市民の健康増進と子供たちのスポーツ振興に寄与する体育施設の整備を計画的に進めます。